

公衆衛生看護学実習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 宮本 郁子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 112.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	3 単位		

・学習方針（講義概要等）

保健所および市町村等の業務に参加・見学し、地域住民に対する保健活動を学ぶ。地域特性や住民のニーズに対応した保健師活動の展開、行政における保健師の役割や機能について学修する。具体的には地域の健康課題を把握するための情報収集を行い、地域の健康課題をとらえる方法を学修し、地域保健活動としての家庭訪問、健康相談、健康教育およびグループ支援などの実際を体験または見学することで、地域保健活動の機能を理解する。地域保健事業の法的根拠と事業の実施そして予算の確保について学び、保健所等の組織としての機能について学修する。

・教育成果（アウトカム）

市町村、保健所、企業、学校での保健活動を体験することにより、地域に住む人々に対するさまざまな組織や制度を理解できる。また、地域の健康課題と保健事業の関連を理解し、地域における看護職の機能・役割を説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：1.2.3.4.5.7.8.

・到達目標（SBO）

1. 地域保健行政における保健所、市町村の役割・機能を学び、その組織体系を説明できる
2. 地域で生活する人々の健康ニーズに基づき、展開される保健活動方法を理解し、地域の保健活動を説明できる
3. 地域診断を行い、地域の健康課題を明らかにすることができる
4. 健康課題を解決するために、効果的な保健事業を企画・立案・実施・評価する過程を理解する
5. 社会資源の開発や地域包括ケアシステムを構築するための方法を理解する
6. 健康危機管理に対して、予防から危機発生時の対応、体制を理解する
7. 事業場の健康に関わる組織とその機能を理解し、健康課題に対する保健師の活動を説明できる
8. 学校における健康に関わる組織とその機能を理解し、健康課題に対する養護教諭の活動を説明できる

9. 行政機関、企業、学校における看護職の役割を理解し、保健活動を考えることができる

・授業日程

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
8/28 (金) ~9/18 (金)			地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	※詳細は実習要項に記載する。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	新版 保健師業務要覧 第4版 2020版	井伊久美子 他編	日本看護協会出版会	2019
教	国民衛生の動向 2019/2020	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2019
参	行政看護学	金子仁子 編	講談社	2017
参	労働衛生のしおり	中央労働災害防止協会 編	中央労働災害防止協会	2020
参	産業看護学	池田智子 編	講談社	2019
参	学校看護学	松浦賢長 他編	講談社	2019

・成績評価方法

公衆衛生看護学実習評価表に基づき評価する。なお評価は、実習先の地域の人々やスタッフの方への対応、実習記録物等による総合的な評価を行う。

* 公衆衛生看護学実習要項参照

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学習は、実習要項に記載した事前学習内容による学修を課す。実習中は毎日「日々の記録」を課す。実習施設は市町村、保健所、企業、学校とし、それぞれの記録用紙に記載する。これらの事前事後学修時間は最低 30 分以上を要する。

【レポート等の課題に対するフィードバック】

実習記録は、実習機関と評価後、個人面接により返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：臨地実習（公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理理論実習）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			